

- 2日にイラクの首都バグダッドで、イランの精鋭部隊である革命防衛隊の司令官が米軍の攻撃を受けて死亡。イランの最高指導者であるハメネイ師は、米国に対して報復措置をとる考えを明らかに。
- 3日の米国市場では米ドル安円高、金利低下、株安といったリスク回避とみられる動きが強まった。当面の市場では、地政学リスクを意識した値動きの荒い展開となる可能性に注意が必要か。

昨年未以降、米国とイランの対立が激化

2日にイラクの首都バグダッドで、米国がテロ組織に指定している、イランの精鋭部隊である革命防衛隊の司令官が米軍の攻撃を受けて死亡しました。

米国防総省は、大統領の指示を受けて米軍は海外に駐留する人員を保護するために断固たる防衛的措置を行ったとの声明を発表、トランプ大統領は3日に行った演説で殺害が自らの指示であることを認めました。

イラクでは、イランの支援を受けているとされる民兵組織と駐留米軍との間で緊張が続いており、昨年12月27日にはイラク軍基地にロケット弾が撃ち込まれ、米軍兵士などが死傷しました。その後、29日に米国防総省は、報復措置として、イランが支援する武装組織がイラクやシリアに築いていた拠点に攻撃を行ったことを明らかにしました。

2日の米軍の攻撃はこれに続くもので、米国防総省は今後のイランによる攻撃を防ぐためとしたほか、トランプ大統領は戦争を始めるために行動を起こしたのではないとして、イランとの戦争は望まない考えを示しました。

一方、イランの最高指導者であるハメネイ師は、革命防衛隊の司令官の死を、国をあげて悼むと宣言し、米国に対して報復措置をとる考えを明らかにしました。

3日の米国市場ではリスク回避とみられる動きも

3日の米国市場ではリスク回避とみられる動きが強まり、米ドル/円は1米ドル=108円に迫り、昨年10月31日以来およそ2ヵ月ぶりの米ドル安円高水準となりました。米10年国債利回りは前日の1.87%台から1.78%台へ大幅に低下しました。ダウ・ジョーンズ工業株価平均（NYダウ）は、前日は大幅に上昇し過去最高値を更新したものの、3日は前日比-233ドルと、前日の上昇分の約7割を失う展開となりました。一方、WTI（ウエスト・テキサス・インターミディエイト）原油先物価格は前日から約3%上昇し、昨年5月20日以来およそ7ヵ月半ぶりの高値水準を記録しました。

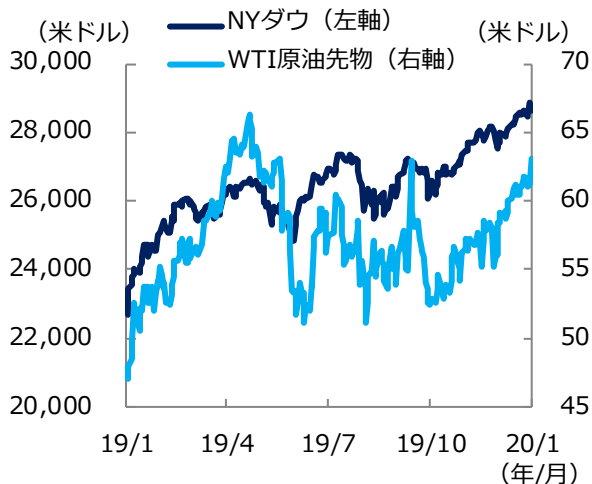
当面の市場では、米国とイランの対立激化という地政学リスクを意識した値動きの荒い展開となる可能性に注意が必要です。また、こうしたなか、昨年12月以降の相次ぐ最高値更新で米国株式市場に過熱感や相対的な割高感が生じつつあるとみられることなどには留意が必要です。

米ドル/円と米金利の推移



※期間：2019年1月3日～2020年1月3日（日次）

NYダウとWTI原油先物の推移



※期間：2019年1月3日～2020年1月3日（日次）

出所：ブルームバーグのデータをもとにアセットマネジメントOne作成

※上記は過去の情報および作成時点での見解であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

※巻末の投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項を必ずお読みください。



アセットマネジメントOne

商号等：アセットマネジメントOne株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第324号
 加入協会：一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会

投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

【投資信託に係るリスクと費用】

● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.85%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.09%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※ 手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※ 上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。

費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※ 投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※ 税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

【ご注意事項】

- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。
- 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。
- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。
- 投資信託は、
 1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
 2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。
 3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

【指数の著作権等】

- ダウ・ジョーンズ工業株価平均は、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCまたはその関連会社の商品であり、これを利用するライセンスが委託会社に付与されています。S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLC、ダウ・ジョーンズ・トレードマーク・ホールディングスLLCまたはその関連会社は、いかなる指数の資産クラスまたは市場セクターを正確に代表する能力に関して、明示または黙示を問わずいかなる表明または保証もしません。また、ダウ・ジョーンズ工業株価平均のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。